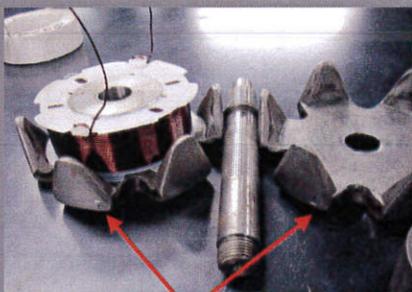




# こだわりの『品質』

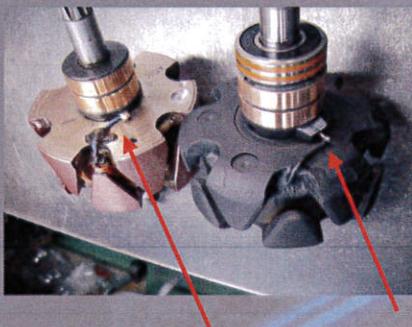
## ～オルタネーター～

【ローター部】



- ・ バランスを崩さない為に、ばらす前にローターに刻印
- ・ シャフトは自社新品
- ・ コイル巻替え

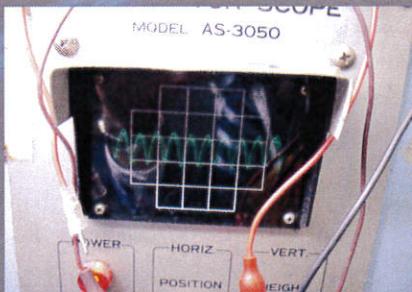
【こだわり】



左→社外新品ASSY  
右→自社組み立て

矢印の部分、左は接着硬化剤がポイントづけ。  
この部分は、回転や振動で剥がれが発生するリスクがあるため、  
長期的な信頼性から、コード部分全てに接着剤をべったりつけるのが  
**職人オヤジのこだわり**・・・！

【テスト】

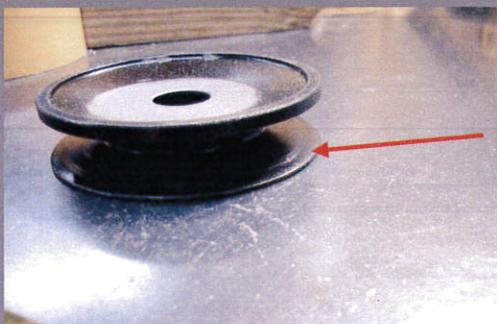


ローター組み立て後、コイル内部がショートしていないか、コイルと  
ボディが接触し電流が逃げていないか、確実にチェック！



# こだわりの『品質』 ～オルタネーター～

【プーリー部】



←左はコアのVプーリー。矢印部うっすらと摩耗。  
このまま再利用するとベルト滑り→**充電不良クレーム**となる  
可能性あり！

そのため、コアの再利用はせず、右→  
のように自社で新品を製造！！



【対策プーリー】



←左は純正クラッチ付プーリー。  
本来は、**木の寿命を延ばす**為に採用されたはずが、  
このクラッチが原因でトラブルになるケースも。  
『実車テスト』の実績を元に『クラッチ対策プーリー』で出荷します。  
しかし、日産の一部車種ではクラッチにするとベルトのばたつき→異音発生のため、純正新品等で対応。実車テストを行なうからこそその見極めです！

【番外】



バキュームポンプ。ポンプ機能の要、『**カーボンベーン**』は  
純正新品でリフレッシュ！

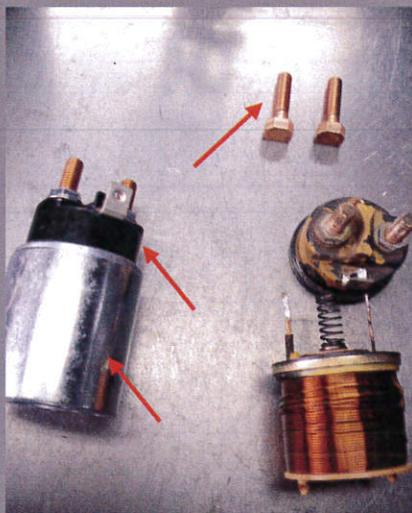
目立ちはしないですが、ブレーキに関わる重要な部分。  
こんなところも手を抜かないのが、**職人オヤジのこだわり！**



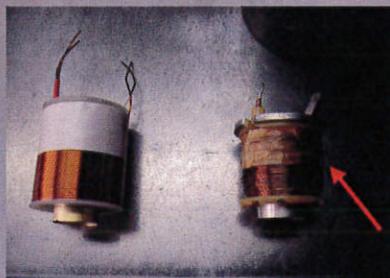
# こだわりの『品質』

## ～スターター～

【スイッチ部】



←キャップ・接点・カバー 自社新品に換装！



コイルも新たに巻き替え。

左側が巻き替え後。右側がコア。  
コアは長年の使用で痩せているのがわかる。

【ブラシ部】



左側がリビルト済み、右側がコア。

消耗品であるブラシは純正新品等で当然交換！  
さらに矢印部分に注目。ハンダづけを採用する会社が多い中、  
自動車の車体接合にも用いられる『**スポット溶接**』で確実に接着！



【オーバーラッピングクラッチ部】

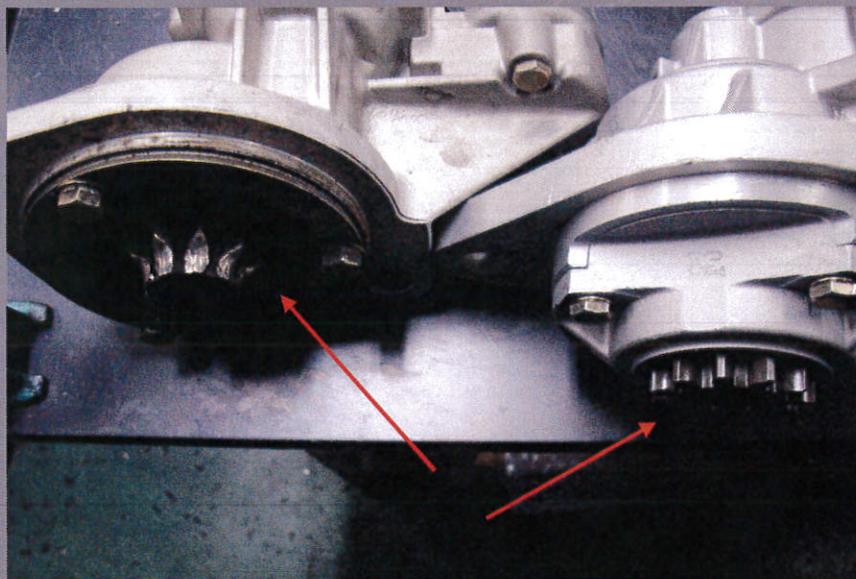
ヘタリやすいバネは、自社新品に換装。  
このクラッチ部に『**特殊グリス**』が充填される。  
耐熱性と、適度な極圧性を持った特殊な一品・・・！  
(ペール缶 1缶で10万円以上！！)



# こだわりの『品質』

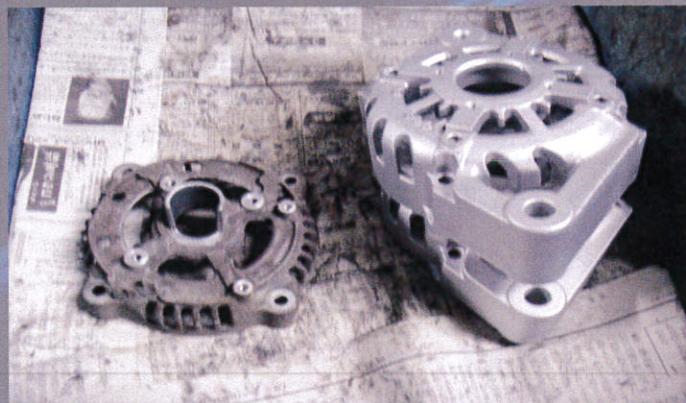
## ～スターター～

【ピニオンギア部】



軽自動車・商用車種・トラック系（エルフ等）は、左のようにほとんど歯が残っていない状態のコアのため、自社新品等で換装する。

※ここまで削れるということは、車体側のギアも交換しないと、スターターだけ交換してもすぐに削れてしまう可能性大！！



【番外】

こだわりの『アルミショット』。  
サンドブラスターや銀色の缶スプレーでは実現できない、本物の風合い！  
風合いだけでなく、アルミ皮膜の形成効果もある・・・。

※スターターだけでなく、オルタにも採用！